

2023 年度（第 19 回）精密工学会賞受賞業績の紹介

国 枝 正 典

国枝正典氏は、放電加工における放電点分布の検出法や、透明体電極による極間現象の直接観察など、数々の新しい実験技術やシミュレーション技術を考案し、これまで未解明であった放電加工現象を次々と明らかにし、多くの有益な知見を得てられました。また、気中放電加工や静電誘導給電を用いた微細放電加工法などの新しい放電加工技術を開発してきました。さらに、電解液ジェット加工法、拡散接合積層造形法など、新技術の提案・開発・社会実装を行ってきました。こうした研究業績により精密工学会論文賞をはじめとする数多くの受賞歴を有しています。

また、精密工学会においては 2006 年理事、2008 年出版部会長、2018 年英文誌（Precision Engineering 誌）Editor-in-Chief、2019 年フェロー、2022 年副会長など、数々の役職を歴任し、学会運営に多大なる貢献を行ってきました。

以上のように、国枝正典氏は、放電加工現象の解明、新加工法の提案・開発・社会実装など、学术界および産業界において精密・微細加工分野の発展に非常に大きく貢献するとともに、長年にわたり精密工学会の運営、人材育成や国際化にも尽力されてられました。ここにその功績を称え、精密工学会賞を贈賞いたします。



略 歴

- 1985 年 東京大学工学系研究科精密機械工学専攻博士後期課程修了
東京大学生産技術研究所助手
- 1986 年 東京農工大学工学部講師
- 1987 年 東京農工大学工学部助教授
- 1992 年 ペンシルバニア大学訪問助教授
- 2001 年 東京農工大学共生科学技術研究部教授
- 2008 年 東京農工大学教育研究評議会評議員
- 2010 年 東京大学工学系研究科精密工学専攻教授
- 2022 年 精密工学会副会長、CIRP JAPAN 代表理事
- 2023 年 東京農工大学名誉教授、東京大学名誉教授
精密工学会フェロー（2019 年）、日本機械学会フェロー（2012 年）、
CIRP フェロー（2009 年）